

ネグロス タイムズ

NEGUROSU TIMES

First issue **2020**

SDGs

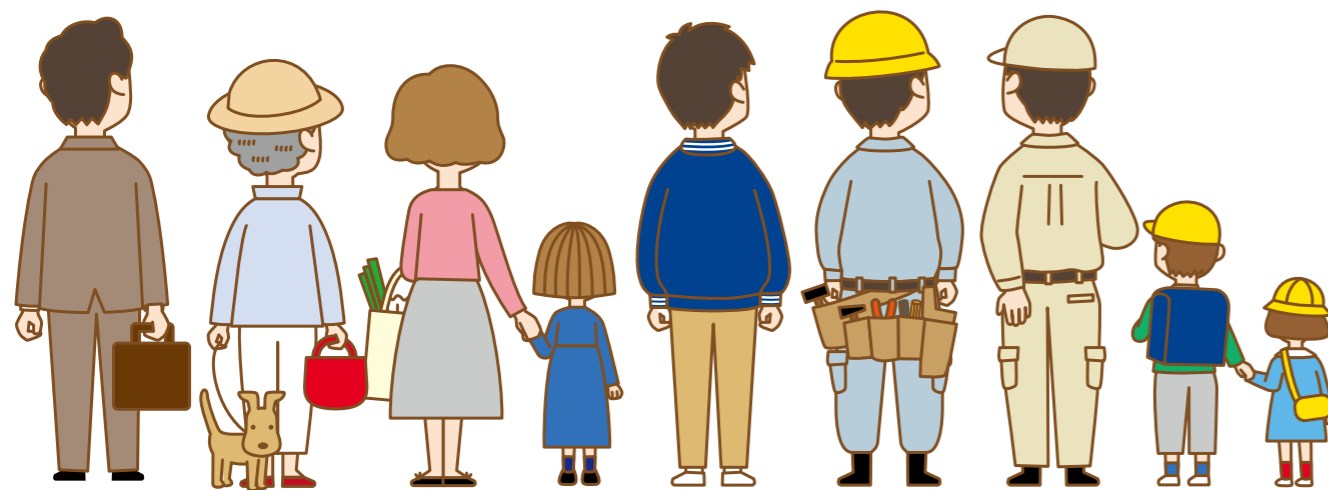
NEGUROSU PRODUCTS in THE SOCIETY
ネグロス電工と社会

Special Feature

女性社員が企画・計画
フリースペースプロジェクト

Topics

すべての人が活躍できる社会へ
ネグロス農園を開園
Be With Negros Island
ネグロス島プロジェクトがスタート



事業を通じた社会貢献、働き方改革、働く学生の支援などを紹介するPRマガジン

NEGUROSU TIMES 2020 令和2年7月6日発行 発行所ネグロス電工株式会社



ネグロス電工株式会社

〒136-0071 東京都江東区亀戸2-40-1 TEL: 03-5628-7111

<https://www.negurosu.co.jp/>

 **ネグロス電工**
NEGUROSU

経営理念

わがネグロス・グループは

創業の精神に則り

常に業界においてトップを目指し

堅実経営に心がけ

顧客の要望に合う電設工事を

また個性豊かな高品質の商品を創造し

顧客の喜び満足から

企業の発展充実を計り

一部を社会へ奉仕還元して

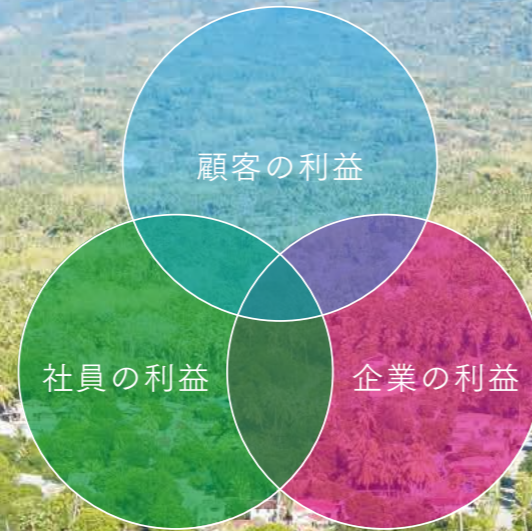
顧客の利益

社員の利益

企業の利益を実現して

企業存続を計ることを基本経営理念とす

(昭和53年4月1日改訂)



社名の由来

昭和19年第二次大戦時、創業者 菅谷政夫はフィリピンのネグロス島にいました。

飢餓と伝染病と敵襲との戦いで、生還者は一割という悲惨なものでした。

そんな体験から、あの苦しみを思えば今後の人生でどのような困難に出会ってもきっと乗り切ることができるにちがいない。また、亡き戦友の分まで働き、社会に奉仕しよう！と昭和22年ネグロス島の名をとって「ネグロス協電社」としたのが始まりです。

「ネグロタイムズ」の 発刊にあたり

ネグロス電工株式会社は創業の精神「利他主義」のもとに、常にお客様の要望に向き合い、価値ある商品を提供し続けることで成長してまいりました。

私たちはBtoB企業であり、ステークホルダーの皆様とコミュニケーションを図れる機会は決して多くありません。100年企業をめざすにあたり、皆様に私たちの取り組みをご紹介し、興味と共感を得ていくことはさらなる企業価値の向上をめざすうえで欠かせないと考えております。

皆様とのコミュニケーションツールとして役立たせていただきたく、ネグロタイムズを創刊いたしました。

CONTENTS

経営理念・社名の由来	2
ネグロス電工のあゆみ	4
ネグロス電工と社会	6
数字で見るネグロス電工	8
トップメッセージ	10
特集 フリースペースプロジェクト	12
活動報告 事業	14
環境	16
社員	18
社会	20
コーポレートデータ	22

写真はネグロス島南部の風景です。

HISTORY of NEGUROSU

ネグロス電工のあゆみ

1947年(昭和22年)電気工事店としてスタート以来、社会基盤を支える商品を開発してきました。これからも、創業の精神「利他主義」のもとに、安全・安心を創造しつづけていきます。

1947 (昭和22年)

6月 江戸川区東小松川2丁目に個人経営の電気工事店「ネグロス協電社」開業。一般内線工事、自家用変電所工事を営業主体とする。



昭和22年 個人開業のネグロス協電社

1953 (昭和28年)

10月 個人商店を改組、(有)ネグロス協電社設立。菅谷政夫 代表取締役役に就任



昭和28年 (有)ネグロス協電社

1964 (昭和39年)

3月 ネグロス最初の営業所として、中部営業所(現・名古屋営業所)開設



昭和39年 中部営業所

1965 (昭和40年)

9月 川惣電材工業(株)(現カワソウテクセル(株))内に机を置き、大阪の出先を開設

1966 (昭和41年)
8月 (株)プレスト工業研究所設立



1972 (昭和47年)

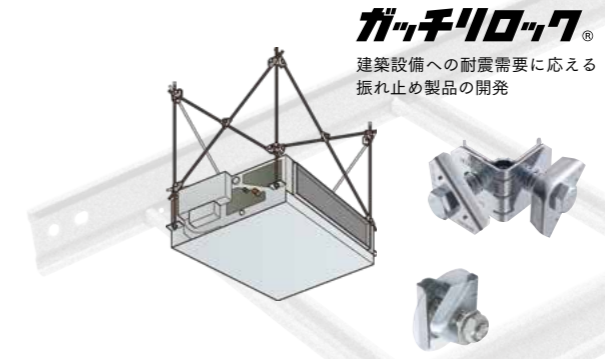
6月 ネグロス空調(株)設立

1973 (昭和48年)

11月 第3工場(現・八街工場)開設



昭和48年 第3工場(現・八街工場)



ガッチロック®

建築設備への耐震需要に応える振れ止め製品の開発

サキロック®

工期短縮をはかるケーブル先行工事資材のシリーズ化



1992 (平成4年)

5月 第1回QCサークル発表大会開催

6月 代表取締役会長に菅谷よし子が就任、代表取締役社長に菅谷慶一が就任

1993 (平成5年)

10月 フィリピンへの衣料支援にバギオ市長より感謝状

2006 (平成18年)

10月 代表取締役会長 菅谷よし子逝去

2011 (平成23年)

4月 財団法人 ネグロス育英会が公益財団法人として認定

6月 代表取締役社長 菅谷慶一逝去により、菅谷三樹生が代表取締役社長に就任

2012 (平成24年)

10月 第5439回QCサークル千葉地区改善事例チャンピオン大会にて浦安工場のサークルが「千葉県知事賞」受賞

2013 (平成25年)

9月 ISO 14001取得(横芝工場)

1940 1950 1960 1970 1980 1990 2000



昭和22年 現場に向かう創業者



昭和34年 ネグロス電気(株)の店内

1958 (昭和33年)

4月 「社報」第1号創刊

5月 露出管用管支持金具「パイラック」を考案 江戸川区中央(旧本社)にて碍子固定金具アングラックの製造開始

7月 電設資材の販売に着手し、ネグロス電気(株)を設立



昭和34年 ネグロス電気(株)

1962 (昭和37年)

10月 電材部門を独立させ、ネグロス電材工業(株)を設立



昭和37年 ネグロス電材工業(株)



昭和37年 新工場

1969 (昭和44年)

4月 ネグロス電気(株)とネグロス電材工業(株)が合併し、ネグロス電工(株)を設立 菅谷政夫 代表取締役に就任



昭和44年 ネグロス電工(株)

5月 ケーブルラック第1号、R型誕生



昭和44年 ケーブルラックR型カタログ

1974 (昭和49年)

9月 電気工事部門が独立し、五洋電設(株)発足

11月 第19回「渋沢賞」受賞



昭和49年 第19回「渋沢賞」受賞

1975 (昭和50年)

7月 ファイアーランス工業(株)設立



昭和50年 ファイアーランス工業(株)

1980 (昭和55年)

10月 (社)発明協会より「発明奨励賞」受賞

1984 (昭和59年)

5月 不審火で本社倉庫、広報室、社長室、会議室の200坪焼失

1986 (昭和61年)

3月 (財)ネグロス育英会発足(菅谷政夫 理事長就任)

10月 創業社長逝去 菅谷よし子社長に就任

1997 (平成9年)

3月 本社を江東区亀戸に移転



平成9年 本社

1999 (平成11年)

1月 ISO 9001品質システム認証取得

マックツール

電気工事の省力化へ向けた専用工具の開発



2015 (平成27年)

6月 「アングラック」と「パイラック」が建築設備技術遺産に認定

2018 (平成30年)

4月 ホーチミン駐在員事務所開設



平成30年 SGRビル(事務所は12階)

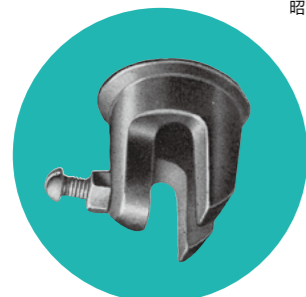
2020 (令和2年)

3月 ミキファーム運営開始



令和2年 ミキファーム運営開始

4月 ネグロス島プロジェクトが発足



アングラック®



パイラック®

一般形鋼用管支持金具



NEGUROSU PRODUCTS in THE SOCIETY

ネグロス電工と社会

当社の製品は、一般の方々の目にふれる機会の少ないものばかりですが、人々の暮らしに欠かすことのできないところを支えています。

SDGsへの取り組み

当社は、2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)*」の達成をめざし、事業を通じて全てのお客様、社員とともに、地球環境に向けたさまざまな取り組みをしています。

*持続可能な開発目標 (SDGs)：2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。



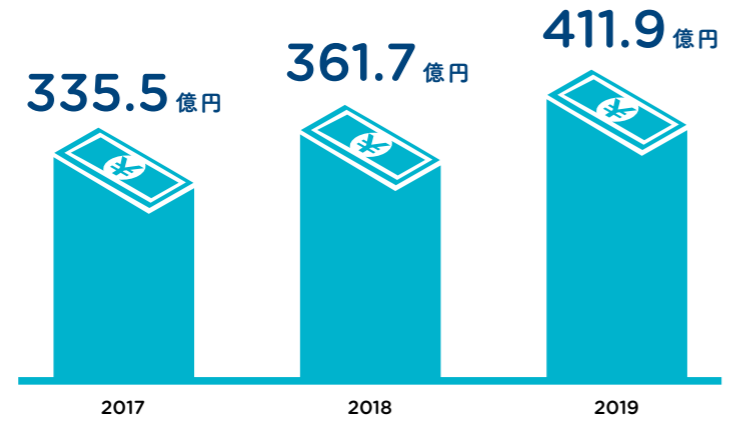
数字で見るネグロス電工

社会やステークホルダー、環境とともに歩むネグロス電工の「いま」を数字で紹介します。



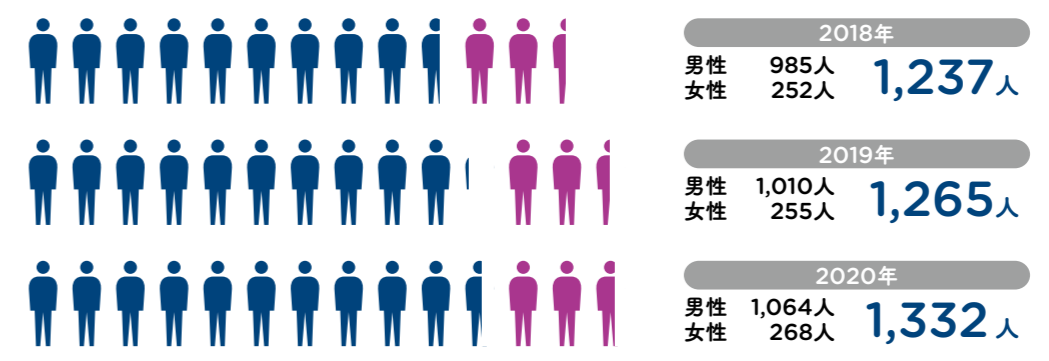
事業の数字

売上高



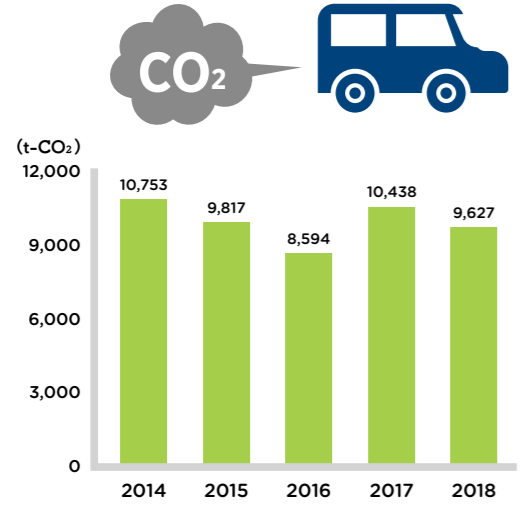
社員の数字

総従業員数

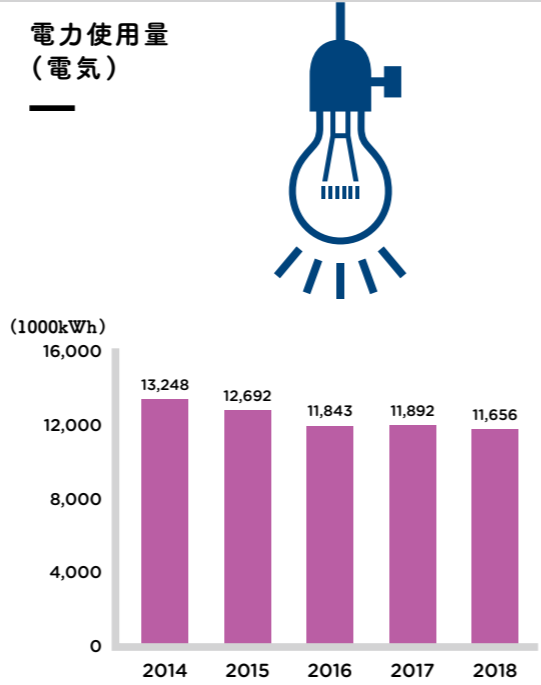


環境の数字

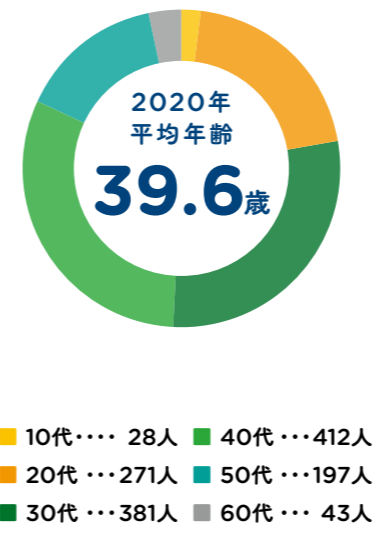
CO₂排出量 (電気・ガス・灯油)



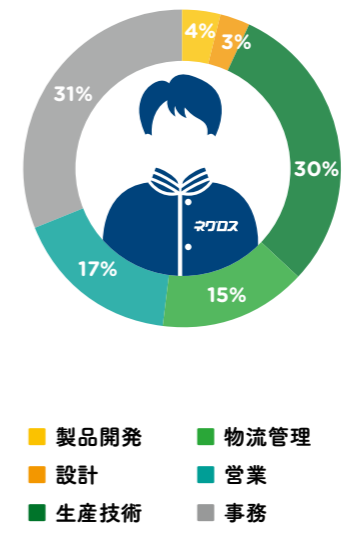
電力使用量 (電気)



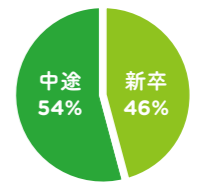
年代構成と平均年齢



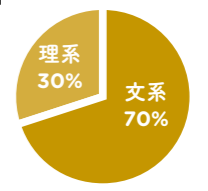
職種比率 (2018年)



新卒中途入社比率 (2018年)



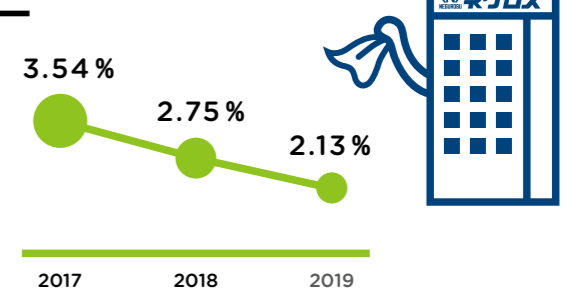
文系理系比率 (2018年)



年間休日 (2020年度)



離職率



省エネ法 事業者クラス分け評価

当社は、省エネ法に定められた事業者クラス分け評価制度で、制度開始から4年連続Sクラス(優良事業者)の評価を得ています。





「利他主義」を創業の精神として

1947年（昭和22年）、個人経営の電気工事店として発足したネグロス、自社の利益に先立ってお客様や社会の利益を第一に考える「利他主義」を創業の精神として事業を継続してまいりました。1956年（昭和31年）に鉄骨に穴あけが不要となる独創的な固定金具「アングラック」を発表したのを機に電気工事材料のメーカーとなり、以来常にその時代の電気工事の現場に携わる方々のご不便を感じることを改善し、安心して作業をしていただける商品を開発、提供してまいりました。このため、現場のニーズを的確に捉えた創意工夫を凝らした製品を生み出すイノベーションと機能性・信頼性・均一性を兼ね備えた高品質の確保に常に力を注いでまいりました。

常に社会とともに歩み
安全・安心を
創造し続けてまいります

ネグロス電工株式会社
代表取締役社長

菅谷 三樹生

また、全国に張り巡らした営業、製造、物流ネットワークにより、企画、開発から受注、製造、配送までを自社で完結する体制を整え、お客様が必要とするときに必要な場所に的確な納期で商品をお届けする「安定供給力」の充実を図ってまいりました。

当初は数点に過ぎなかった商品も現在では1万5千点を数えるまでに拡大し、高層マンションや商業ビル、工場や物流センター、公共施設、インフラまで、あらゆる施設で利用いただき、安心で豊かな社会を支えております。

グローバルな視点で
豊かな社会に貢献

いま社会環境はめまぐるしいスピードで変化しています。同時に、2015年（平成27年）にSDGs（国連持続的開発目標）が採択されたように、私たちはグローバルな課題を共有しその解決に努めることが求められています。今後はより一層グローバルな視点で世の中の課題解決に取り組んでいかなければなりません。

具体的な取り組みとして、お客様の事業のグローバル化に対応するため、2017年（平成29年）にはベトナム ホーチミン市に駐在員事務所を出店しました。現在は現地法人を設立、ASEAN諸国の発展に寄与したいと考えております。

地球環境の保全に関しては、生産の省人・省力化による省エネルギーへの貢献とともに、地球環境に配慮した製品開発、社内での環境活動も推進しております。

事業を超えた社会貢献への取り組みとしては、当社は1986年（昭和61年）から経済的理由によって修学困難な学生に返済不要な奨学金を給付する「ネグロス育英会」の活動を続けてまいりました。現在では育英会の卒業生は700名を超え、社会各界で活躍されています。さらに2020年（令和2年）にはフィリピンのネグロス島の子供たちに就学機会を提供する「ネグロス島プロジェクト」をスタートしています。



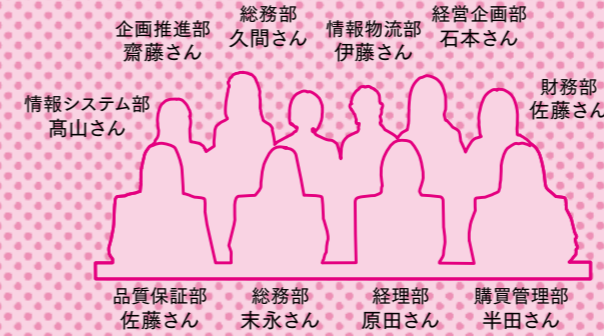
すべての人が働きやすい
職場をめざして

当社の「利他主義」の中には、会社の利益に先立つ存在としてお客様や社会にとっての利益とともに「社員の利益」を掲げています。社員にとってより働きやすい職場づくりを進めるため、生産物流拠点での省力化や安全衛生の向上を継続的に進めるとともに、2019年（令和元年）より全国の営業拠点で新たに「営業時間」を設定し「残業ゼロ」の取り組みを進めております。

また、すべての人が活躍できる社会をめざして以前より障がい者の雇用を積極的に進めてきました。2020年（令和2年）には新規事業として「農園事業」をスタート、障がいのある方も安心して働くことができる設備の整った農園で、無農薬野菜の栽培を行っています。さらに女性社員の活躍を支援する取り組みも引き続き強化してまいります。

今後とも、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ステキなスペース
つくりたい!



フリースペースの完成予想図



講師を交えたワークショップ

私たち女性社員が企画・計画した フリースペースの完成をめざして!

ネグロス電工では、女性活躍推進の一環として、本社に新設するフリースペースの計画立案から設計までを、女性社員のプロジェクトチームで進め、取締役会でプレゼンを実施し承認を得ました。当社初の女性社員プロジェクトチームのメンバーは、本社オフィスで働く20代~30代の10名。そのうちプロジェクトの推進役を務めた事務局の4名の皆さんに話を聞きました。



女性社員だけのプロジェクトが発足

プロジェクトの進行にあたっては、人材コンサルティング会社から講師2名を招き、ワークショップという形で進め方、取り組み方などを指導してもらいました。講師を招いてのミーティングは計3回。1月12日の第1回ではワークショップによる進め方の指導を受け、2月14日の2回目に計画の枠組みの決定、最終回の3月17日までに役員への計画のプレゼンテーションと見積を完成させるというスケジュールで進行しました。

—今回はネグロス電工初の女性によるプロジェクトという

ことでしたが、最初はどんな気持ちでしたか?

佐藤 何かを一から計画するというのはメンバー全員が初めての体験でした。しかも研修ではなく、職務として期限までに成果を出すというのは、とても大きなプレッシャーでした。

末永 当初いちばん苦労したのは、メンバーの意思疎通でした。プロジェクトの中心になる考え方が共

初めての体験。メンバーの意思疎通に苦労しました。



総務部 総務課
末永 茉優

有できず、各自バラバラの目標に向かってスタートしてしまいました。

半田 はじめに期限が3ヵ月と言われた時には余裕があると思いましたが、実際取り組んでみたら、設計から見積まで完了ということで、スケジュールがタイトで大変でした。

原田 当初はメンバー全員が毎日何度もミーティングを繰り返しました。コンセプトを決めて形にするという基本的なことが難しく、プロジェクトのことが頭から離れなくて家に帰ってもずっと考えたり、ニキビまでできたりして大変でした(笑)。

「さまざまな目的を持つ社員の要望に応えられる空間づくり」をテーマに

プロジェクトの進行は、事務局が何をやるか決めて、メンバー一人ひとりの役割分担を決めて進めました。まず、フリースペースを利用する本社社員のアンケートを作成して、社員の意見を集約。アンケートの結果、『気分転換や昼食、軽食購入、電話、仮眠での利用』といった意見や、『歓談場所、静かな個人スペース、体調不良時の休憩場所が欲しい』など

最初は、緊張と不安でいっぱいでした。



経理部 経理課
原田 亜矢子

今回のプロジェクトが、自分にとって大きな自信になりました。



品質保証部 品質管理課
佐藤 麻依

といった要望がありました。

社員の求めるさまざまな声を具現化し、誰でも利用できる空間をめざしていくため、コンセプトは【さまざまな目的を持つ社員に応えられる空間づくり ~社員に喜ばれるリフレッシュルーム~】に決定しました。

—プロジェクトのチームワークは、どんなふう形成されていったのですか?

佐藤 最初は少しぎこちなかったのですが、一緒の時間を過ごすにつれてメンバーの個性もわかり、お互いの得意なことを生かしたり、カバーしあったりできるようになりました。

末永 入社年次の浅い私にも皆さん気軽に話しかけてくださり、意見もよく聞いてくれてうれしかったです。

半田 私はふだん若手社員の皆さんとはなかなか話す機会がなく、ちょっと距離を置いていましたが、プロジェクトを通じて気兼ねなく話せるようになり、社内の人脈も広がりましたね。

原田 最初のワークショップの時は緊張と不安でいっぱいでしたが、チームの雰囲気もどんどんよくなって、ワークショップの最終回は笑いに包まれるようになりました。

当初、休憩室プロジェクトと呼ばれていたプロジェクト名は、コンセプトの決定とともに「フリースペースプロジェクト」に決定。複数の業者からレイアウト案をもらい、具体的な計画案をまとめることになりました。この段階では、役員会でのプレゼンテーションの資料を作る班と見積書をまとめる班とに分かれてプロジェクトを進めました。

—今回、プロジェクトに参加してみていちばんよかったこ

とは何ですか?

末永 私はこれまで部署以外の社員と話したことがなかったので、プロジェクトを通じて社内での知り合い、人脈ができたのがいちばんうれしいです。

佐藤 初めてのプロジェクトでしたが、女性だけでここまでできることをアピールできましたし、自分自身にとっても大きな自信になりました。

原田 業者さんへの見積依頼をしたり、設計図を考えたりとか、日常業務でやったことのないことができ、すごく貴重な体験になりました。また、自分にとって足りないところや未熟なところも知ることでできました。

半田 プロジェクトを通じてできたネットワークは貴重な財産だと思いますので、今後の仕事に生かしたいですね。

プロジェクトでできたネットワークを大切にしたいですね。



購買管理部 資材購買課
半田 恵美

—今後の抱負を教えてください

半田 プロジェクトを通して仕事効率よく進めるにはメンバー同士のコミュニケーションが大事だなとあらためて思いました。今後は、自分の部署内でも今以上にコミュニケーションを大事にしていきたいと思っています。

末永 元々このプロジェクトは役員会でプレゼンテーションをして承認を得ることがゴールでしたが、今後もフリースペースの運営にも携わって、より良いフリースペースにしていきたいと思っています。

佐藤 いま、働き方改革を推進していますが、私も、このフリースペース設置を機に働きやすい職場づくりを、いろいろな面でめざして行けたらよいと思います。

原田 今回のプロジェクトは、女性活躍推進の第一歩として始めたので、まずはフリースペースプロジェクトを成功させて、これからどんどん女性が活躍していきやすいような環境を私たちがつくってあげたいと思います。

CUSTOMERS

新たな価値を創造するモノづくりが、安全で快適な社会を支えています

安全を提案するモノづくり

ネグロス電工は、電気設備工事に携わるお客様の生の声を反映し、地震などの災害時の安全性向上のための施工資材や、施工作業時の安全性を高めるツールを開発し、お届けしています。



ケーブルラック制振システム『NSYS』

エヌシス
NSYS®

建築物や設備の地震対策には、免震、制振、耐震の3つの施工があります。ケーブルラック®の耐震施工については、建築設備・耐震設計施工指針に仕様が記載されています。

耐震設計施工は、地震時に設備が倒壊せず避難できることが前提となっており、一度の地震には耐えられますが、繰り返し地震を受けると、ダメージが蓄積し、破損する可能性が高くなります。

当社は、繰り返し地震の揺れを吸収し、被害を軽減できるケーブルラックの制振システム『NSYS』を開発しました。NSYSは、耐震設計施工指針の耐震支持に準拠し、さらに地震の揺れを吸収する制振ダンパーを搭載した業界初の制振支持システムです。



※ケーブルラックとは、電力や通信の幹線となる大量のケーブル類を配線するための工事材料です。

開発者 技術部 製品開発一課
浅妻 栄作



ラク天ツール®

建築工事における死亡災害の発生原因で最も多いのが「墜落・転落」であり、これは建設工事の一部である電気工事においても例外ではありません。天井部等の高所への機器の取り付けや配線作業が多いことから脚立や作業台からの転落事故をいかに無くしていくかが課題でした。

ラク天ツールは、床の上の作業だけで、天井に沿って配線が行える工具で、従来必要だった高所作業を行う必要がありません。

高所の配線を床から——、ネグロスが提案する新しい電気工事の形です。



開発者 技術部 製品開発二課
今野 洋一郎



地震大国の日本において、インフラを支える材料は非常に重要で、高い信頼性が求められます。ネグロス電工では、施工に携わる方々の作業安全性と、エンドユーザーの安全・安心を第一に考えた商品をお届けします。

ニーズに応えるモノづくり

建築現場の仕上げ加工資材は、従来、現場に合わせて特注製作していました。工期終盤に現場を実測のうえ設計、製作することが必要で、施工据え付けの負荷が大きいことが課題でした。ネグロス電工は、「もっと簡単に早く工事できないか」というお客様の声を反映し、仕上げ加工の工数を大幅に低減する商品を開発しました。

マルチステップ

「マルチステップ」は、配管や設備等の上に歩行スペースを確保する商品です。持ち運びが簡単な組立式で、さまざまな施工パターンを想定し、高さ・長さのラインナップを取り揃えました。



従来工法



組み立てる前は、小分けしてひとりでも運べます。エレベーターや狭い通路も難なく通過できます。

開発者 技術部 製品開発課 (秋田)
吉田 聡

ブラインドプレート

「ブラインドプレート」は、キュービクル等の開口部から鳥や小動物の侵入を防止する商品です。薄板(パンチングプレート)を採用し、金切りはさみで簡単に加工できるようにすることで省施工と短納期を実現しました。



従来工法



金切りはさみで切断できるため、ケーブルラックの位置変更や配管追加など、現場での急な変更にも素早く対応できます。

開発者 技術部 製品開発一課
小森 大輔

ネグロス電工は機能性・信頼性・均一性を兼ね備えた高品質の商品を提供しています。

機能性

安全に、簡単に、安定した取り付けができるデザインにこだわったモノづくりを追求しています。

信頼性

支持する物の形や重量、環境等に応じて、さまざまな側面から試作・試験を繰り返し行うことで高い信頼性を実現しています。

均一性

安定した品質の商品を製造するために、生産現場では厳しい社内基準を設け品質の管理を行っています。



万能試験機



ISO9001登録書・付属書

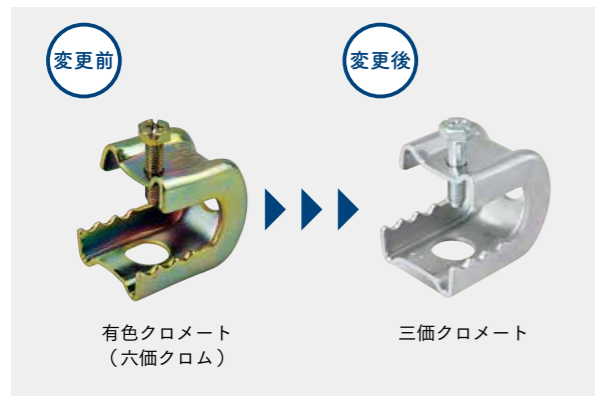
ENVIRONMENT

環境にやさしいモノづくりを通して、持続的な社会づくりに貢献します

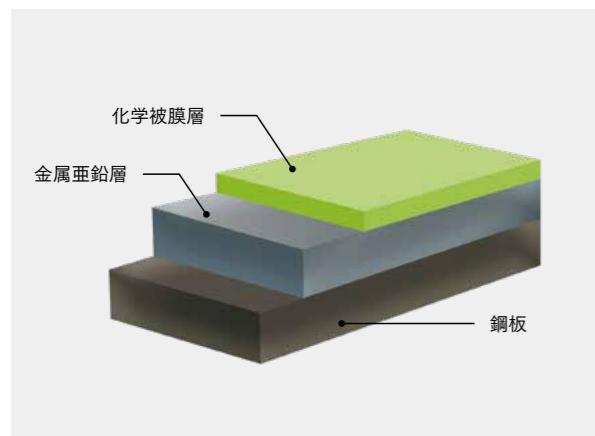


六価クロムから三価クロムへ

ネグロス電工では環境への配慮の目的から電気亜鉛めっきの表面処理を有色クロメート（六価）から三価クロメートへの変更を進めています。



電気亜鉛めっきの製品は、鋼板に電気亜鉛めっき処理を施していますが、そのままでは亜鉛がすぐに酸化して白い腐食生成物（白錆）が発生してしまい外見が良くありません。そのため、電気亜鉛めっき後に表面を化成処理して、美観を保つようにしています。また、化成処理を行うことで耐食性も向上しています。



今回の表面処理の変更は、化成処理で使用する溶液を六価クロムを含む溶液から三価クロムを含む溶液に変更するものです。

六価クロムは、耐食性能に優れており、建築金物やビスなど幅広く使用されてきましたが、極めて強い毒性を持っています。皮膚炎や腫瘍の原因となるほか、

過去には工場の労働者が飛散した六価クロムを長期間にわたって鼻から吸収し続けて、鼻中隔穿孔（びちゅうかくせんこう）が多発しました。また、強い酸化力によって発がん性物質としても取り扱われています。

毒性の強い六価クロムが環境中に放出された場合、少量であれば有機物などとの反応によって容易に三価クロムに変化します。しかし、大量に放出されると六価クロムのまま土壌中に存在したり、地下水に溶け込んだりして、土壌汚染や地下水汚染となります。

一方で三価クロムは環境に悪影響を与えず、自然界に存在しています。無害どころか、現在の研究では人体に必要な栄養素であることもわかってきました。

当社の製品は、六価クロムから三価クロムへと順次切り替えを実施しています。

塩ビフタル酸除去商品に切り替え

2003年にEUでRoHS*指令が制定されました。2019年7月の改正RoHS指令では4種類のフタル酸類が追加されました。

当社製品が主に使用される国内の建築工事現場では、原則としてRoHS指令は適用されませんが、当社では制限物質を使用しない製品への切り替えを進めています。

このため、『フタル酸ジ-2-エチルヘキシル』を使用していた軟質塩化ビニルを、使用していない材料への切り替えを順次進めており、端末保護キャップ類の生産の切替えは完了しました。

在庫の品についても、順次切り替えを進めていきます。



ダクターチャンネルの端末保護キャップ
(材質：軟質塩化ビニル)

* RoHS (Restriction of Hazardous Substances)指令
欧州における「電気・電子機器に含まれる特定有害物質使用制限指令」

ネグロス電工では、環境負荷物質の低減、リサイクル、廃棄物削減、省エネルギーなど、継続的な活動により、地球環境の保全に取り組んでいます。

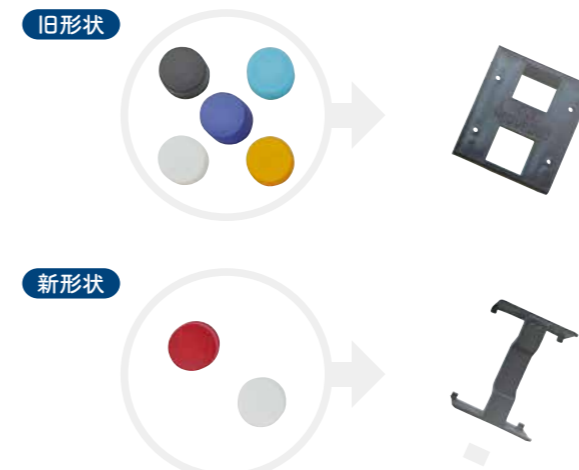
ペットボトルキャップ回収活動から生まれるケーブルラック輸送用保護パッキン

当社は、ケーブルラックの出荷・輸送時に振動で傷がつかないように保護パッキンを装着しています。

この保護パッキンは、従業員全員でペットボトルキャップの回収活動を行い、集まったキャップから製作しています。

以前は、ケーブルラック（SRタイプ）の保護パッキン1個にペットボトルキャップが5個必要でしたが、保護パッキンの形を改良し、現在はペットボトルキャップ2個で作れるようになりました。昨年は年間約23,000個を製作しました。

当社は、資源を有効に再利用することで、環境にやさしいモノづくりを進めています。



旧形状の保護パッキン(上)と
新形状の保護パッキン



新形状の保護パッキン使用例

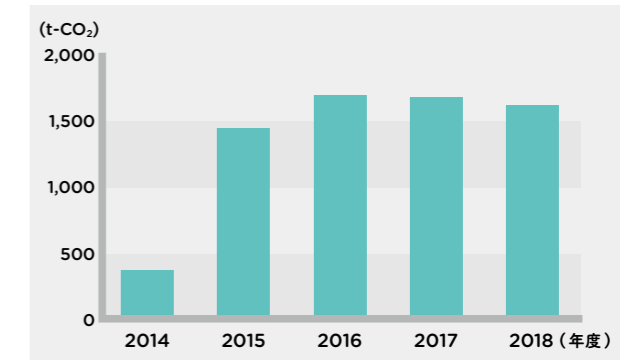
CO₂ 削減で地球環境に貢献

温室効果ガス削減の取り組みとして、自社工場の屋根に太陽光パネルを設置しています。太陽光発電は、発電時にCO₂が発生しないので、地球温暖化の原因のひとつであるCO₂を削減できます。



2014年から設置を開始し、現在のパネル枚数は1万枚を超え、その総出力は約3MWとなっています。

CO₂ 削減量



環境新聞を発行

ネグロス電工 環境管理委員会では、環境に関するさまざまな情報を共有するため、全社員を対象とする「環境新聞」を発行しています。2012年5月の創刊以来、年4回のペースで発行し、最新号は第30号になっています。毎号、環境負荷物質、省エネルギー、リサイクル、環境マネジメントシステム、環境関連法規などさまざまなテーマをわかりやすく紹介しています。



EMPLOYEES

みんなが活躍、やりがいを感じる
職場づくりをめざして

働き方改革の推進

かつて当社は、「寝ずに働く、寝ずロス電工」などと社員の間で言われていた時代もありましたが、現在は業界の先頭を走る「働き方改革企業」をめざしてさまざまな改革を進めています。

■意識の改革

改革の第一歩は、経営者から「有給休暇の取得推進」「時間外労働の削減」の明確な発信でした。これにより全社員が問題を共有し、社員の意識が変わりました。

■業務プロセスの改革

意識が変わることで、定時に業務を終えるための工夫をするようになり、責任者も時間外労働をしている部下に対し、原因や理由を聞くようになりました。原因が明確になったことで、業務内容の棚卸や、仕事の割り振りを見直すことができました。

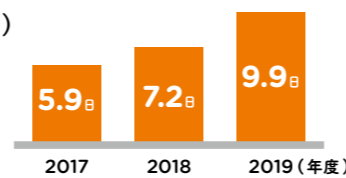
■業務ツールの改革

人的な業務量を削減するためにツールを導入しました。現在は管理系業務においてIT化を進め、業務の効率化を進めています。

■さらなる働き方の改革

働く場所（テレワークの導入）や、働く時間（時短勤務等）の選択を増やして社員がより働きやすい環境づくりを進めています。

年次有給休暇（日/人）
取得日数



多様な働き方の実践

当社は、多様な働き方の実践のため、男性社員の育児休業を推奨しています。2016年度に育児休業と2017年度に育児短時間勤務（時短勤務）を取得した社員にお話を聞きました。

育児休業

妻が3人目の出産をすることになり、上の子どもたちの育児のために育児休業を取得しました。育児休業中は私が上の子どもたちの世話をし、妻は生まれた子どもの世話に集中できました。育休を取ったことで初めて子どもたちと濃密な時間を過ごすことができ、家族の絆を深める良い機会となりました。



技術部 製品開発三課
尾形 乾

家族との絆がプライベートの充実度に繋がり、仕事の効率も上がり、組織への貢献にも繋がったと感じています。

時短勤務

長男の出産時、妻の産後の体調がかなり悪かったという経験があり、次男の出産時には、産後妻に無理をさせたくないとの思いから時短勤務を申請しました。時短勤務によって、育児の大変さを実感できました。

会社では、時短勤務によって、時間をかなり意識するようになり、いつも以上に優先順位や段取りに気を使いました。また、不在の時間に他の人でも対応できるように、組織内の情報共有を意識するようになりました。



経営企画部 法務課
高木 政幸

当社は、社員が置かれた環境にかかわらず自分の能力を最大限発揮し活躍できるための制度を整えています。

障がいを持つ方を社員として採用

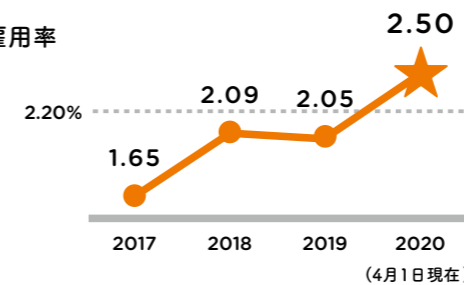
ネグロス電工では、障がいを持っている方へ社会参加の場を積極的に提供していくことを目的に、障がい者雇用の促進に取り組んでいます。

現在、浦安工場に6名が勤務しているのははじめ、全社の各事業所に障がい者が社員として在籍し、梱包補助作業などに携わっています。

各事業所とも障がい者本人とご家族とのコミュニケーションも緊密に取りながら、安心して働ける職場をめざしており、非常に高い定着率を維持しています。

その結果、当社の障がい者雇用率は、法定雇用率（2.2%）を大きく上回っています。

障がい者雇用率
（%）

障がい者が働ける農園事業を
スタート

より多くの障がい者の方を対象に活躍の場を提供することを目的に、2020年3月より千葉県船橋市で農園の運営を始めました。障がいのある方も安心して働くことができる設備が整った農園で、無農薬野菜の栽培を行っていきます。

3月16日には農園事業部門に8名の障がい者が新入社員として入社し、さっそく翌日から栽培準備のための水耕ベッドの設営を開始しています。



入社式



農園での栽培準備作業

障がい者の
皆さんとともに
働いています



浦安工場では2004年から障がい者の雇用を開始し、現在6名が健常者に混ざって梱包作業を行っています。

指導役が1名ついており、誰に指示を聞けばよいか迷わないようにしています。人によって障がいの内容は異なりますが、皆さん、繰り返しの単純作業については高い能力を発揮しています。中には健常者には見つけられないような小さな異常を発見できる人もいます。

障がいを持つことが欠点というばかりでなく、いわばそれぞれの個性だととらえ、健常者とともに成長してもらえたらと思っています。



第一製造部 浦安工場
工場長
岩永 利昭



私の役割は6人の障がい者の指導役です。

障がい者の方には、根気よく丁寧に接することで、安心感とやる気を高めてもらえるように努めています。

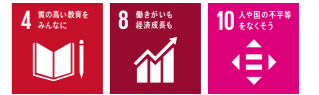
担当になってよかったことは、人にはそれぞれ違いがあり、個性があることをわかったことです。これからは、職場の健常者、障がい者の区別なく、職場のメンバーそれぞれが能力を発揮して、チームとしてのパフォーマンスを高めていきたいと思っています。



第一製造部 浦安工場
工場長
畦山 康

SOCIETY

世代、国境を越えてネグロスは 人材育成支援に取り組んでいきます



修学の困難な学生をサポートする 公益財団法人 ネグロス育英会

ネグロス電工の創業者・菅谷政夫は、企業経営理念のなかにある「企業の発展充実を計り、一部を社会へ奉仕還元して」という考え方を実践するため、1986年に財団法人・ネグロス育英会を発足させました。

ネグロス育英会は、学業優秀でありながら経済的理由によって修学困難な高等学校および高等専門学校の生徒に対して奨学金を給与し、社会に寄与する人材を育成することを目的としています。ネグロス育英会の奨学金は、いわゆる「給付型奨学金」であり返済の義務がありません。また、学業を修了した後の進路も本人の自由です。

発足以来今日までに奨学金の受給者数は700名に達しています。

働きながら学ぶ青少年を応援する

当社は、働きながら学ぶ青少年が青春メッセージを発表する全国高等学校 定時制・通信制生徒 生活体験発表大会に協賛しています。

全国の定時制および通信制高等学校に学ぶ生徒が、学校生活を通して、感じ、学んだ貴重な体験を発表し、多くの人々に感動と励ましを与えることを目的とするものです。当社は、2011年から協賛企業の一社としてサポートを続けています。

ネグロス電工では、地域社会、国際社会の一員としてより豊かな社会の実現をめざして、特に次世代の育成をテーマにしたさまざまな活動を推進しています。

ネグロス島の子どもたちを支援する

当社はSDGs「質の高い教育をみんなに」の目標に取り組むべく、2020年から、社名の由来であるネグロス島青少年支援プロジェクトを開始しました。

フィリピン・ネグロス島で経済困難につき能力があっても学校へ通えない13歳から18歳の学生に対して奨学金を給付するほか、さまざまな支援活動を行い、将来社会に貢献できる人材の育成をめざしています。

- 事業実施：NPO法人 IMAGINUS
- スポンサー：ネグロス電工株式会社
- 後援：Darwin English Tutorial International Inc. (DETi・デティ)

2020年度については、「奨学金」の給付を開始し、2021年5月を目標に、奨学生を主として、学校から遠く離れたへき地に住む子どもが、市街地の学校に通いながら、生活できる「寄宿舎」建設に向けた活動を行う予定です。

また、同時進行で農村部に安定的な仕事をつくり、自らの力で基礎収入を上げることを目標に、「しごとづくり事業」も進めていきます。

「奨学金プログラム」・「寄宿舎事業」によって直接的に子どもたちへの精神的・物理的サポートを行うとともに、「しごとづくり事業」により、子どもたちのベースである家庭をサポートすることで、貧困のスパイラルを減らし、安心して過ごせる生活環境の創造をめざします。



ネグロス育英会の奨学金を受給して



私は高校2年生の時に父が急逝し、学校の先生の取り計らいによりネグロス育英会の奨学生となりました。高校3年生の1年間ネグロス育英会から学資の援助を受けられたことは、私と弟2人を学校に通わせるうえで大変助かったと母は申しておりました。

卒業後の就職活動を行っているときに求人企業としてネグロス電工を紹介されました。実は、その時初めてネグロス育英会が民間企業であるネグロス電工の運営だと知ったのです。そんなご縁もあり、高校から新卒採用で当社に入社することになりました。

現在は、本社の情報物流部でお客様の納品予定に合わせて必要な搬入車両を手配する業務を担当しています。工場と配送業者さんの間に入って臨機応変に対応する仕事ですが、配属7年目に入ってもまだまだスキルを高める必要を感じています。一方で、いま私は自分が担当している仕事の標準化、効率化を図るというミッションが与えられています。長年の経験と勤が活きてくる仕事に就いておりますが、今後はAIのような新しいツールの活用も図りながら、お客様、配送業者

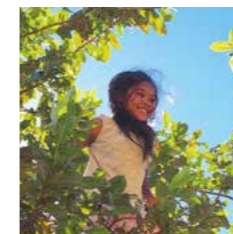
さん、担当社員にとってより迅速で効率的なシステムが作れるように頑張っていきたいです。

最後に、かつての私のような境遇の中にある学生の皆さんには、「たとえつらい時でも目の前のやるべきことに取り組んでください、必ず道は開けます」というメッセージを贈りたいと思います。



情報物流部 工程調整課
原田 達也
(2006年入社)

Be With Negros Island ネグロス島と共に！



NPO法人 IMAGINUS プロジェクトコーディネーターの玉置梨絵さんと菅谷社長が固い握手を交わしました。



社名	ネグロス電工株式会社
創業	1947年(昭和22年)6月1日
設立	1953年(昭和28年)10月1日
代表者	代表取締役社長 菅谷 三樹生
本社	〒136-0071 東京都江東区亀戸2-40-1 TEL 03-5628-7111
本店	東京都江戸川区中央1-3-5
従業員数	1,334名(2020年2月現在)

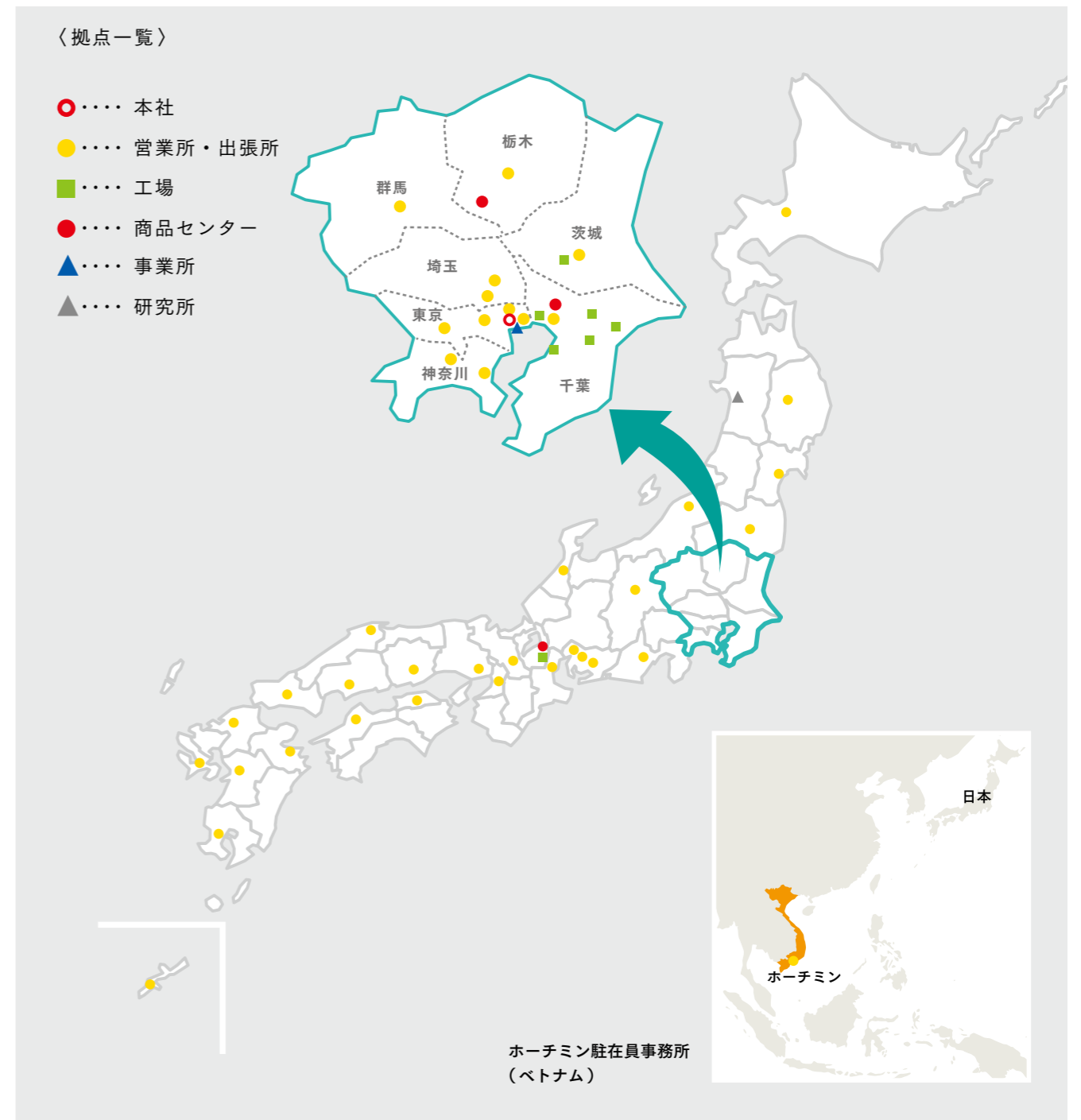
- 加入団体
(順不同・敬称略)
- 全日本電設資材卸業協同組合連合会
 - 全日本電気工事業工業組合連合会
 - 東京商工会議所
 - 公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会 東京都支部
 - 一般社団法人 日本電設工業協会
 - 一般社団法人 日本建築学会
 - 一般社団法人 日本空調衛生工事業協会
 - 一般社団法人 東京電業協会
 - 一般社団法人 電気設備学会
 - 一般社団法人 埼玉県電業協会
 - 一般社団法人 建設電気技術協会
 - 一般社団法人 茨城県電設業協会
 - 一般財団法人 流通システム開発センター

事業内容 電気・空衛設備資材の製品開発・製造・販売(卸)

主要製品 ケーブルラック、レースウェイ、パイラック ほか

株式会社古西電機	本店	〒140-8678	東京都品川区南品川2-16-6
	大阪営業所	〒555-0021	大阪府大阪市西淀川区歌島2-12-28
	鹿島営業所	〒314-0022	茨城県鹿嶋市長栖1879
五洋電設株式会社		〒132-0021	東京都江戸川区中央1-3-5
株式会社東亜商会	本店	〒577-0063	大阪府東大阪市川俣1-18-35
	名古屋支店	〒452-0942	愛知県清須市清須田中町45
トヨタ工業株式会社	本社・流通センター	〒132-0025	東京都江戸川区松江5-10-16
ネグロス空調株式会社		〒132-0021	東京都江戸川区中央1-3-20
ファイアーランス工業株式会社	本部	〒132-0025	東京都江戸川区松江2-27-11
	関西営業所	〒552-0016	大阪府大阪市港区三先2-12-19
	仙台営業所	〒984-0056	宮城県仙台市若林区成田町61-1
	名古屋営業所	〒464-0075	愛知県名古屋市千種区内山2-14-21

グループ会社
(五十音順)



本社(亀戸ビル)



営業所(東京中央)



工場(市原第一)



商品センター(佐野)

